



HOKURIKU

第 **82** 期  
**報 告 書**

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

Sensor Innovation  
**北陸電気工業株式会社**



# 株主の皆様へ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は平成28年3月31日をもって第82期を終了いたしましたので、当社グループの営業の概要ならびに決算につきましてご報告申し上げます。

## 当連結会計年度の概況

当連結会計年度の世界経済は、米国では個人消費が下支えし、緩やかな拡大が続きましたが、中国や新興国では減速基調が鮮明になりました。

わが国におきましては、個人消費や設備投資が伸び悩み、足踏み状態が続きました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、機器の高機能化や自動車の電装化が進展したものの、下期に入ると、スマートフォンや産業機器向けの伸びが鈍化したことから、電子部品需要の動向は弱含みで推移しました。

こうした状況のなかで、当社グループ（当社および連結子会社）におきましては、成長分野への拡販を図る一方、引き続き生産効率の改善に努めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高40,917百万円（前期比△14.4%）となり、営業利益883百万円（同△12.0%）となりました。

また、年明けからの円高進行に伴い、為替差損310百万円を営業外費用に計上したことなどから、経常利益は624百万円（同△70.1%）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しなどから、182百万円（同△88.0%）となりました。

## 財政状態

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、売上債権及びたな卸資産の減少を主因に5,001百万円減少し、35,806百万円となりました。また負債は、仕入債務の減少を主因に2,659百万円減少し、23,494百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,341百万円減少し、12,312百万円となりました。

うち、株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益により182百万円増加しましたが、配当金の支払いにより335百万円減少し、連結子会社の非支配株主持分の取得に伴い、資本剰余金が69百万円減少したことなどから、227百万円の減少となりました。

また、その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が株安に伴い329百万円減少し、為替換算調整勘定が円高に伴い699百万円減少したことを主因に、1,201百万円の減少となりました。

また、非支配株主持分は、上海の連結子会社における非支配株主持分を当社が取得したことから、913百万円減少しました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、2,240百万円増加し、5,701百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、4,835百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益540百万円、減価償却費1,501百万円に対し、売上債権及びたな卸資産が6,111百万円減少し、仕入債務の減少は3,124百万円となったことが主因であります。

投資活動の結果使用した資金は、1,660百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出1,450百万円が主因であります。

財務活動の結果使用した資金は、604百万円となりました。これは、借入金の純増852百万円に対し、配当金の支払い335百万円の他、連結子会社の非支配株主持分の取得による支出964百万円等によるものであります。

## 次期の見通し

次期の景気動向は、中国経済の減速に加え、原油安を背景に米国の景気悪化も懸念されるなかで、円高が進行しており、先行きの不透明感が強まっています。

また、エレクトロニクス市場におきましても、携帯情報端末の成長鈍化が懸念されます。

こうした状況下、当社グループは、機器の高機能化と自動車電装化のさらなる進展やウェアラブル、IoTなどの技術革新等の市場変化に対応した取り組みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 津田 信治



# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	21,754	流動負債	12,483
現金及び預金	7,047	支払手形及び買掛金	6,673
受取手形及び売掛金	7,015	短期借入金	4,181
商品及び製品	1,184	未払法人税等	116
仕掛品	2,201	賞与引当金	321
原材料及び貯蔵品	2,131	その他	1,190
繰延税金資産	406	固定負債	11,010
その他	1,769	長期借入金	5,285
貸倒引当金	△0	再評価に係る繰延税金負債	327
固定資産	14,052	退職給付に係る負債	4,931
有形固定資産	10,320	その他	467
建物及び構築物	3,045	負債合計	23,494
機械装置及び運搬具	3,938	(純 資 産 の 部)	
土地	2,877	株主資本	11,151
その他	459	資本金	5,200
無形固定資産	291	資本剰余金	5,039
投資その他の資産	3,439	利益剰余金	2,056
投資有価証券	1,403	自己株式	△1,143
繰延税金資産	1,228	その他の包括利益累計額	1,161
退職給付に係る資産	0	その他有価証券評価差額金	98
その他	863	土地再評価差額金	684
貸倒引当金	△55	為替換算調整勘定	782
		退職給付に係る調整累計額	△ 404
		非支配株主持分	—
資 産 合 計	35,806	純資産合計	12,312
		負債・純資産合計	35,806

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 連結損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	40,917
売上原価	34,806
売上総利益	6,111
販売費及び一般管理費	5,228
営業利益	883
営業外収益	250
受取利息及び受取配当金	125
その他	125
営業外費用	509
支払利息	90
為替差損	310
その他	108
経常利益	624
特別利益	62
補助金収入	49
その他	13
特別損失	147
固定資産売却損	33
固定資産除却損	88
その他	24
税金等調整前当期純利益	540
法人税、住民税及び事業税	132
法人税等調整額	195
当期純利益	211
非支配株主に帰属する当期純利益	29
親会社株主に帰属する当期純利益	182

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	540
減価償却費	1,501
売上債権の減少額	5,375
たな卸資産の減少額	735
仕入債務の減少額	△3,124
その他	△193
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△1,450
投資有価証券の取得による支出	△38
その他	△171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減額	△593
長期借入金の純増額	1,445
自己株式の取得による支出	△5
配当金の支払額	△335
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△964
その他	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△331
現金及び現金同等物の増加額	2,240
現金及び現金同等物の期首残高	3,460
現金及び現金同等物の期末残高	5,701

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



# 連結決算ハイライト

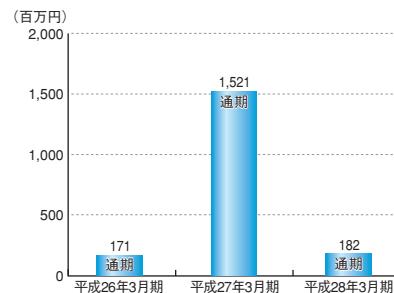
## 売上高



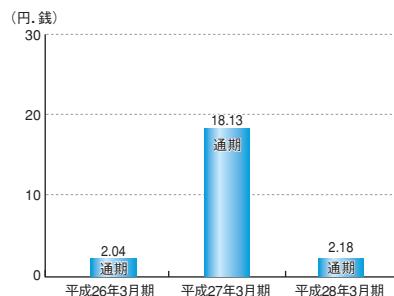
## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益



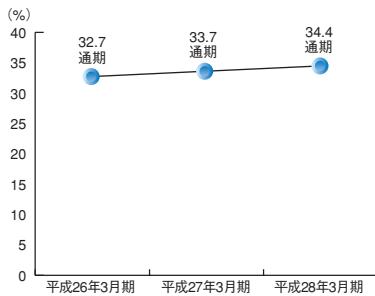
## 一株当たり当期純利益金額



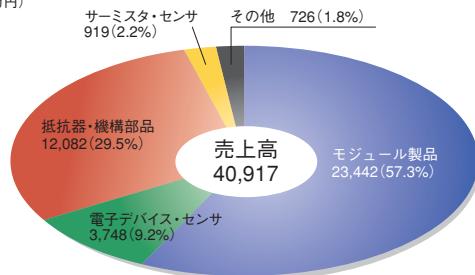
## 純資産額



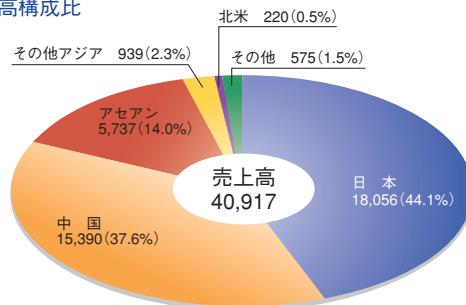
## 自己資本比率



## 平成27年度 製品分類別売上高構成比 (百万円)



## 平成27年度 地域別売上高構成比 (百万円)



# 会社の概況 (平成28年3月31日現在)

## 株式の状況

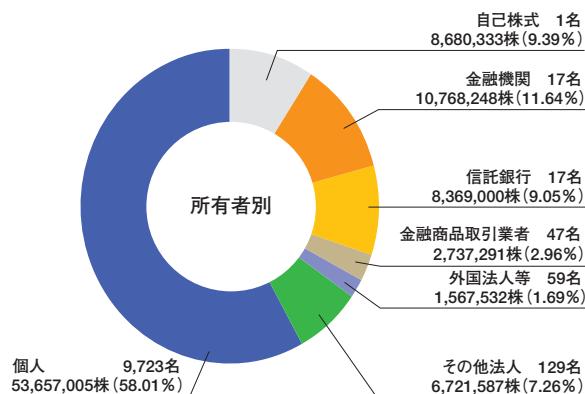
発行可能株式総数 ..... 250,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 92,500,996株  
 株主数 ..... 9,993名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数
株式会社 北陸銀行	3,314 <small>千株</small>
北電工取引先持株会	2,875
北電工従業員持株会	2,358
株式会社 北國銀行	2,183
前田建設工業株式会社	1,648
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,625
株式会社 富山銀行	1,398
野村正也	1,169
コーセル株式会社	1,126
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,062

(注) 1. 当社は自己株式8,680千株を所有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
 2. 株主数は、千株未満を切捨てて表示しております。

## 所有者別分布状況



## 会社概要

社名	北陸電気工業株式会社
英文社名	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.
所在地	〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
T E L	076-467-1111
F A X	076-468-1508
U R L	http://www.hdk.co.jp/
設立	1943年(昭和18年)4月4日
資本金	5,200百万円
事業内容	固定・可変・チップ等各種抵抗器、圧力・加速度・湿度等各種センサ、モジュール製品、ペーストスルーホール基板等各種電子部品の開発・製造・販売、その他の事業

## 取締役および監査役 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	津田信治
取締役	坂本重一
取締役	谷川聡
取締役	多田守男
取締役	小川明夫
取締役	野口高広
取締役	下坂立正
常勤監査役	神田充
監査役	北之園雅章
監査役	宮本雅憲

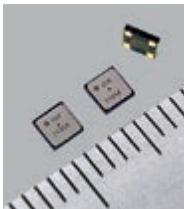
(注) 1. 坂本重一氏は、社外取締役であります。  
 2. 北之園雅章氏、宮本雅憲氏は、社外監査役であります。



# 製品紹介

## ■ 各種センサ群

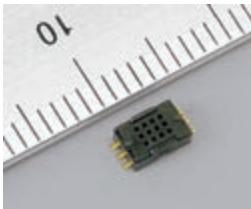
### [気圧センサ]



小型気圧センサ

2.5mm角と業界最小クラスの気圧センサを開発しました。気圧計、気象モニタ、高度計、カーナビ、腕時計、HDD、部屋の開閉検知、更にはスマートフォンへの搭載等各方面への用途が見込まれます。

### [超小型マイクロヒータ]



MEMSガスセンサ

MEMS技術を使用した省エネタイプの超小型マイクロヒータを開発しました。メンブレン構造で低熱容量設計（素早い立ち上がり）に加えて、高耐久性で長寿命設計となっています。更にこのマイクロヒータと他社とのコラボレーションにより、消費電力が従来比10分の1のガスセンサを開発しております。これにより、小型で低消費電力のアルコールチェッカの実現が可能です。

### [フォースセンサ]



小型フォースセンサ(0~10N検知タイプ)



超小型フォースセンサ(0~5N検知タイプ)

小型・薄型で10N以下の微小荷重検知が可能なセンサです。小型低背、更に出力がリニアで使いやすい、荷重の微小変化や強弱が検知できるため、調理家電やスタイラスペン等各種アプリケーションに対応可能です。

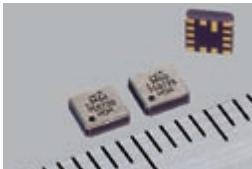
### [圧力センサ・圧力センサモジュール]



圧力センサ・圧力センサモジュール

ピエゾ抵抗式の半導体圧力センサです。センサ単体の他、水位検知、ガス圧検知等の各種圧力センサモジュールをラインナップしています。中でも水位センサモジュールは、ミリメートル単位の検知が可能で非常に高精度であり、またアナログ出力、デジタル出力タイプを取り揃えており、更に取り付けタイプも基板取付けタイプ、フランジねじ取付けタイプを用意し、洗濯機や食器洗い機、エコキュート等各種水位センシングのニーズに対応しています。

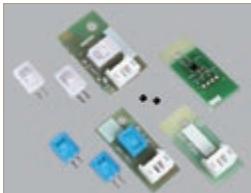
### [3軸加速度センサ]



3軸加速度センサ

スマートフォンやタブレット端末、ゲーム機コントローラ、ドライブレコーダー、歩数計等幅広い用途への使用が可能です。

### [容量式・抵抗式湿度センサ]



湿度センサ

快適な生活空間に欠かせない湿度センサ。従来から実績のある抵抗式に加えて、新たに2mm角と超小型サイズの容量式湿度センサを開発しました。抵抗式では計測が困難であった0%RH~100%RHの広範囲の湿度範囲の計測が可能です。従来からの用途であるエアコン、加湿器、事務機器等に加えて、スマートフォンやウェアラブル端末向けに用途が見込まれます。

### [自動車用センサ]



自動車用センサ



カーエアコン用湿度センサ

自動車には、快適性、安全性、更には、地球環境の向上を実現するために、様々なセンサが使用されています。これら自動車用センサは、高精度であることに加えて厳しい環境変化にも十分機能することができる様に高い信頼性が求められます。当社では、これらのニーズに対応した各種自動車用センサをラインナップしております。

## ■ 主要製品

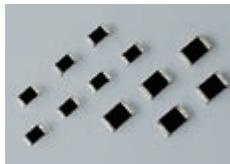
### [超小型SMDタクトィールスイッチ]



超小型SMDタクトィールスイッチ

スマートフォンやタブレット端末向けの超小型・低背のSMDタクトィールスイッチです。従来品より約1/4のサイズながら、動作寿命は10万～100万回と高信頼性を確保しています。

### [耐サージ形高電力チップ抵抗器]



耐サージ形高電力チップ抵抗器

独自の素材、構造によってサージ耐圧、耐パルス性に優れたチップ抵抗器です。従来同サイズ品に比べて定格電力が大きく車載用として最適です。

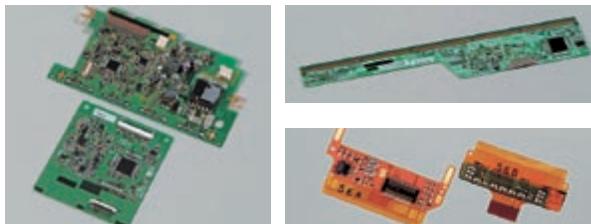
### [JAXA認定チップ抵抗器]



高信頼性チップ抵抗器

JAXA認定の宇宙用の高信頼性チップ抵抗器です。

### [モジュール製品]



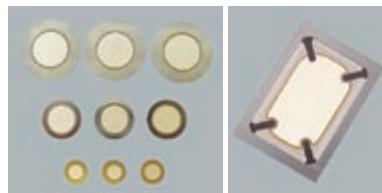
各種電子回路機能モジュール

先端実装技術を駆使したモジュール製品。スマートフォンやタブレット端末等に使用されている液晶のコントロールモジュールです。その他自動車電装用モジュールやヘルスケア向け等各種機能モジュールも製造しております。

### [高周波部品・圧電部品]



無線モジュール



圧電部品

スマートグリッドの基幹技術である無線通信技術。当社では、スマートメーターをはじめ各種用途向けの特定小電力無線モジュールを用意しております。また、独自の圧電材料技術に、積層技術を付加した圧電積層スピーカ等の圧電部品は、他方式と比べ小型・薄型で、しかも低消費電力で環境にやさしい製品です。

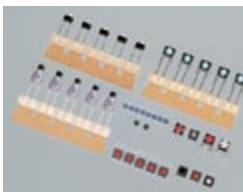
### [各種チップ部品]



各種チップ部品

スマートフォンや車載電装品、生活家電等の製品に欠かせない各種チップ部品。当社では0402サイズの超小型チップ抵抗器の他、チップネットワーク抵抗器、チップ半固定可変抵抗器、また電流検出用チップ抵抗器、耐硫化チップ抵抗器、耐サージチップ抵抗器、高電力チップ抵抗器（長辺電極チップ抵抗器）等の高機能チップ抵抗器、チップヒューズ、チップタクトィールスイッチ等各種チップ部品を取り揃えております。

### [機構部品]



タクトィールスイッチ

電向けの防水タイプ、更にはスマートフォン、タブレット端末用の小型SMD品等各種タイプをラインナップしております。

### [ペーストスルーホール基板]



銀・銅ペーストスルーホール基板

ますます電子化が進展する自動車。当社のペーストスルーホール基板は、民生用電子機器の他、自動車のメーターパネル用としても使用されております。



# HOKURIKUグローバルネットワーク



# 株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
一単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.hdk.co.jp/">http://www.hdk.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 【お知らせ】

### 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ご案内

### INFORMATION

記載の連結財務諸表等の詳細につきましては、当社のホームページのIR情報の決算情報にてご覧いただけます。



<http://www.hdk.co.jp/>



## 北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地 TEL.076-467-1111 FAX.076-468-1508  
3158 Shimo-okubo, Toyama-City, Toyama Pref. 939-2292, JAPAN



この冊子は植物性インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。